東京学芸大学「現代GP」プロジェクト
持続可能な社会づくりのための環境学習活動
～多摩川バイオリージョンにおけるエコミュージアムの展開～

学芸大生がひらく
多摩川エコモーション

多摩川エコモーション 公開セミナー 2006

まちを元気にする『地域通貨』の可能性

～千葉県市川市の地域通貨「てこな」の実践から学ぶ～

いま、全国で「地域通貨」を利用したまちづくりが行われています。住民どうしの支えあいや地域の経済活性化のツールとして、全国で 600 近い地域通貨が実践されていると言われています。

今回は、政府の地域再生計画の一環として行われた千葉県市川市の地域通貨「てこな」の導入実証実験について、同市地域情報推進課長の堀切公雄さんをお招きしお話を伺います。地域通貨の実践にご関心のある方、ぜひご参加ください。お待ちしています。

● 日　時：　2006 年 7月27日（木）14:30 開始～16:30 終了

● 会　場：　東京学芸大学 20 周年記念飯島会館2F 第 4 会議室

【プログラム】

14:30 挨拶／多摩川エコモーションの紹介
14:40 講演Ⅰ「地域通貨は地域再生の起爆剤となりうるか？」
講師：牧野 文夫（東京学芸大学 社会科学講座　経済学分野 教授）
15:00 講演Ⅱ「市川市地域通貨モデル事業からの報告 ～地域の再生・活性化にどうつながったか」
講師：堀切 公雄さん（千葉県市川市 情報システム部 地域情報推進課長）
16:00 質疑応答・フリーディスカッション
16:30 終了

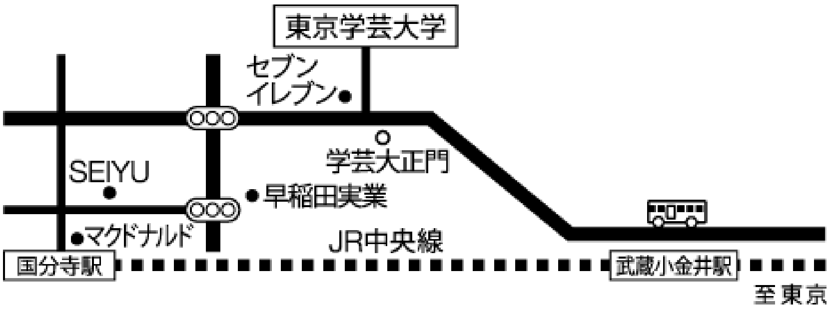
● 参 加 費：　無料

● 定　　員：　30名　　＊参加には事前の申し込みが必要です（裏面参照）

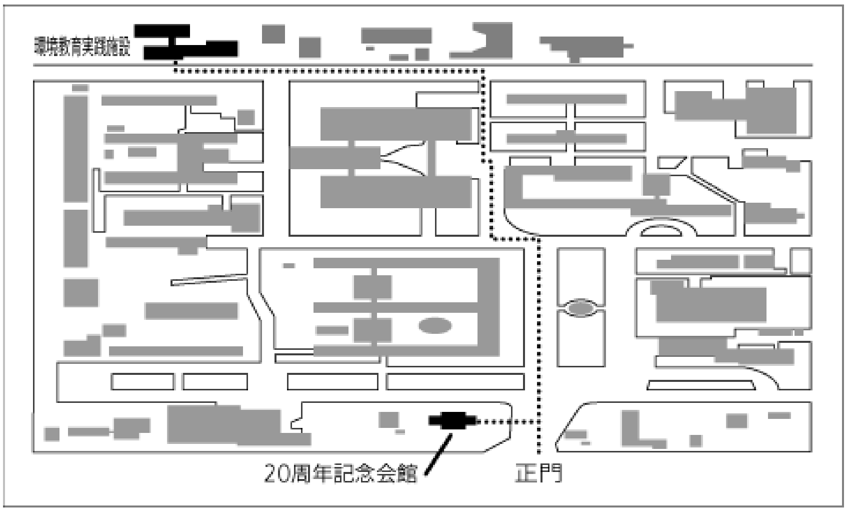
■「多摩川エコモーション」について

東京学芸大学は、平成 17 年から「持続可能な社会づくりのための環境学習活動～多摩川バイオリージョンにおけるエコミュージアムの展開～」をテーマに教育プロジェクトを展開しています。これは文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラムに採択されたものです。「多摩川エコモーション」と名付けたこのプロジェクトでは、首都圏の様々な地域で学芸大学の学生が地域の人たちと協力しながら、授業を通じて地域課題の学習活動を行います。環境保全・持続的な社会づくり、そして地域活性化に貢献するのがこの教育プロジェクトのねらいです。今回の公開セミナーはその一環として行われるものです。大学の学生・教職員はじめ、地域のみなさんのご参加をお待ちしています。

● 会場までのアクセス



1. JR 中央線「武蔵小金井駅」下車、北口改札前より京王バス「小平団地行き」学芸大正門下車
2. JR 中央線「国分寺駅」下車北口より徒歩約 15 分



申し込み用紙　締切日：７月２５日（火）　FAX：042-329-7669

＊必要事項をご記入の上、本紙をそのままご送信ください。

お名前	ご所属	ご連絡先（電話番号または Email）

★Ｅメールでの申し込みを受け付けております。上記の内容をご記入のうえ、hayaset@u-gakugei.ac.jp 宛にご送信ください。

[お問合せ]

東京学芸大 「多摩川エコモーション」（現代ＧＰ） 事務局 （担当：佐野）

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4-1-1 東京学芸大学 環境教育実践施設内

TEL.042-329-7862／7861　FAX.042-329-7669　http://www.fsifee.u-gakugei.ac.jp/GP/